

保護者のみなさまへ

令和 7 年 1 0 月 1 日

小野市立小野中学校長

令和 7 年度全国学力・学習状況調査結果について

みだしのことについて、下記のとおり取りまとめましたので、お知らせします。教育実践の成果と課題を明らかにするとともに、今後の学校経営や学習指導に活かして参ります。

記

1 生活・学習について

良好な項目

質問事項	回答結果
朝食を毎日食べていますか	「食べている」は 92%
毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか	「寝ている」は 82%
毎日、同じくらいの時刻に起きていますか	「起きている」は 94%
自分には、よいところがあると思いますか	「当てはまる」は 88%
将来の夢や目標を持っていますか	「当てはまる」は 60%
人が困っているときは、進んで助けていますか	「当てはまる」は 94%
いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか	「当てはまる」は 98%
人の役に立つ人間になりたいと思いますか	「当てはまる」は 99%
学校に行くのは楽しいと思いますか	「当てはまる」は 92%

課題となる項目

質問事項	回答結果
学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1 日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか（学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む）	「1 時間以上」は 60% 「2 時間以上」は 23%
土曜日や日曜日など学校が休みの日に、1 日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか（学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む）	「1 時間以上」は 51% 「2 時間以上」は 22%
学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1 日当たりどれくらいの時間、読書をしますか。（電子書籍の読書も含む。教科書や参考書、漫画や雑誌は除く。）	「30 分以上」は 29% 「1 時間以上」は 13%
読書は好きですか。	「当てはまる」は 59%

<本校の特徴・考察>

朝食の摂取や就寝・起床時刻の回答結果から、多くの生徒が規則正しい生活を送っています。小学生時から習慣化された成果といえます。「自分には、よいところがあると思いますか。」の質問に多くの生徒が「当てはまる」と回答し、自己肯定感の高まりも見られました。「人が困っているときは、進んで助けていますか」の質問にも多くの生徒が「当てはまる」と回答し、思いやりの心も育まれています。

一方、家庭学習の定着や読書の習慣化が課題と言えます。

## 2 学力調査

(1) 国語科の分析：おおむね良好、記述に課題あり。

特に良好な項目	改善を要する項目
・【短答】手紙を見直し、漢字の誤りを修正する	・【選択】「かいしんの出来」を漢字で書く ・【記述】美術展の工夫点を文章で伝える

＜考察及び今後の改善点＞

「知識・技能」の向上に関しては、日々の授業の中で漢字やことわざ、文法などについての演習問題や確認の時間を取り入れ、知識の習得、定着を図るようにしていく必要があります。記述式の問題に対する苦手意識をもつ生徒がおり、授業において「書く」機会を十分に確保していきます。さらに、文章の構成や展開に留意し、人物の設定や心情を細かく読み取る授業を心がけ「読む力」を養っていく必要性が明らかとなりました。

(2) 数学科の分析：おおむね良好、分野によって課題あり。

特に良好な項目	改善を要する項目
・△ABCにおいて、∠Aの大きさが $50^{\circ}$ のときの頂点Aにおける外角の大きさを求める	・1から9までの数の中から素数を全て選ぶ ・一次関数 $y = 6x + 5$ について、 $x$ の増加量が2のときの $y$ の増加量を求める ・連続する三つの3の倍数の和が、9の倍数になることの説明を完成する

＜考察及び今後の改善点＞

思考・判断・表現について、まずは無回答ではなく自分の意見を述べられるように思考・発表をする場面を作っていく必要があります。その際に、ペアや班などの少ない人数で取り組ませることで自分なりの考えを発表する機会を設けなど工夫していきます。また、思考・判断・表現の正答率を上げていくためには、基本的な知識・技能を高めていくことも不可欠です。小テストやおの検などの機会からリフレクションを行い、知識・技能の抜けを少なくしていきます。

(3) 理科の分析：おおむね良好、分野によって課題あり。

特に良好な項目	改善を要する項目
・プロパンガスと都市ガスでシャボン玉を作ったときの様子から、プロパンガス、都市ガス、空気の密度の大小を判断し、小さい順に並べる	・[理科の実験では、なぜ水道水ではなく精製水を使うのかな?』という疑問を解決するための課題を記述する

＜考察及び今後の改善点＞

文章を読んで、実験の意図（語句の定義）を読み取る力に課題があり、実験の方法や目的を提示してから実験を行うことを意識して授業を行い対応していきます。さらに、元素記号の定着が十分とは言えず、基礎語句を徹底していきます。基礎的なオームの法則への理解度にも課題があり、演習だけでなく、定義を再確認する必要があります。